

## 2020 年秋季研究発表大会のお知らせ (Web 開催)

大会実行委員長  
大会実行副委員長

早稲田大学環境総合研究センター 岡田久典  
早稲田大学環境総合研究センター 永井祐二

新型コロナ感染症対策として、未曾有の諸対策が求められるこの時期において、様々な意見がありましたが、デジタル・トランスフォーメーション (DX) の先導役を自負する国際 P2M 学会として、多くの皆様のご支持とご支援のもと Web での開催となった次第です。

一方、各種機器へのアクセシビリティの問題があることも勘案して、午後開催予定の基調講演、パネルディスカッションは、感染症対策を万全にしたうえで、対面型の要素も取り入れようと考えております (入場人数は制限されます。詳細は後日発表いたします)。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

1. **開催日時** : 2020 年 10 月 17 日 (土)
2. **会場** : 早稲田大学 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1
3. **大会テーマ**  
「危機を乗り越える P2M」
4. **大会趣旨**

現代世界は気候変動、災害や地政学リスク、格差問題など多様で複雑な問題にしており、人類の将来の不確実性や不協和のリスクが増加している。これらの問題解決のためにわれわれは、専門領域を超え英知を結集し、全体最適、全体調和を目指して社会ニーズに応えていかねばならない。本学会は、研究者、実務家が結集し、理論と実践面から社会、行政、産業、学界のために

新しい問題解決型の知識進化と体系化を目的に設立された。(国際 P2M 学会設立趣旨より)

目下、新型コロナウイルスによるまさに未曾有の人类的危機の真ただ中にあるが、かかる複合的な危機に対して、個別の専門分野毎の対応では到底対応しきれないのではないだろうか。我が国は、この十数年の間にも東日本大震災など大きな危機を経験してきたが、今般、世界的な困難に直面している。改めてその危機を乗り越える全体最適、全体調和を目指すことが求められている。本学会は、これらに対応する新しい「仕組みづくり」を基軸に据え、「危機を乗り越えるための」革新的な価値創造と全体調和を同時に実現する思考や方法論の追求による社会貢献が求められている。

パンデミック、医療・福祉の持続性、経済危機、DX 等による生産性向上、環境破壊、原発事故、食の安全と供給不安、学力低下、少子化、高齢化、雇用、年金問題などは、わが国を中心に世界が直面する複雑系の社会問題の典型的な事例であり、これらの問題への対応は SDGs や Society 5.0 等の構想にも掲げられている。これらの問題群の共通項として、人間行動、制度、組織、システム間の相互作用が指摘されており、一つの問題に単独プロジェクトで対応する発想の数多くの取組は、既に限界を迎えている。かかる現状下では、全体像を使命に複合プロジェクトを集約して展開するプログラムマネジメント思考が、最も必要とされる時代になったと確信している。

## 5. 大会スケジュール:

※ 都合により、変更される場合があります。

### (1) 研究発表の部 (オンデマンド配信)

※発表プログラムは10月上旬以降に学会ホームページ上に掲載します。

10月17日～11月16日:発表予稿・動画・質問&コメント・回答の閲覧期間

10月17日～10月25日:発表者への質問&コメント受付期間

10月17日～10月27日:発表者から質問者への回答受付期間

### (2) 講演の部 (ライブ配信)

13:00 - 13:20

開会挨拶

山本秀男氏 (国際P2M学会会長)

友成真一氏 (早稲田大学 環境総合研究センター所長、教授)

13:20 - 14:20

基調講演「グローバルヘルスの考え方～世界での経験から～」

池上清子氏 (長崎大学 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 教授)

14:20 - 14:40 休憩

14:40 - 16:40

パネルディスカッション「危機を乗り越えるP2M」モデレータ:岡田久典氏 (早稲田大学 環境総合研究センター 上級研究員)

パネリスト (順不同):

池上清子氏 (長崎大学 教授)

白井久美子氏 (日本ユニシス(株) 執行役員)

吉川成美氏 (県立広島大学 教授)

島岡未来子氏 (早稲田大学 教授、  
神奈川県立保健福祉大学 教授)

16:40 - 16:50 閉会挨拶

## 6. 要旨の投稿期限及び方法

投稿期限 : 2020年8月17日(月) 24時 (厳守)

[http://www.iap2m.org/regist\\_smallcongress.html](http://www.iap2m.org/regist_smallcongress.html)

## 7. 予稿の投稿期限及び方法

投稿期限 : 2020年9月14日(月)

24時(厳守) ※締切後の投稿は一切受け付けられません。

投稿方法 : 要旨投稿時に登録されたメールアドレス宛に、後日、編集委員から「予稿投稿方法」に関するメールが届きます。それに従い、PDF形式の予稿を投稿してください。

## 8. 発表用動画と聴講者質問への回答入力の期限及び方法

動画入力期限: 2020年9月27日(日) 24時(厳守) ※締切後の入力は一切受け付けられません。

※ 国際P2M学会ホームページ「お知らせ」にて、春季大会に関する情報を順次公開致します。

<http://www.iap2m.org/>

2020年8月3日 受理